

市長と語る タウンミーティング  
テーマ「災害に強いまちづくり」

日 時 平成24年6月2日（土） 午後2時～3時20分  
会 場 駒林会館（駒林自治会）  
天 気 晴れ

参加者 27人

主な意見等（◆・・・参加者 ☆・・・市長）

- ◆駒林地区の8割の住民が、さぎの森小学校に避難することになっている。そのさぎの森小学校はハザードマップ上では青色の浸水区域となっているが、この状況を行政としてはどう考えているのか。対処については。
  - ☆洪水の時などを考えると、さぎの森小学校を避難所とすることは難しいと考える。今現在行っている地域防災計画の見直しの中で、恐らくは「フクトピア」か「福岡小」あるいは「駒西小」あたりに見直しを図られると思う。
  - ◆よその地域の事であるが、下福岡までの橋が一本しか無く、あれが崩れたら下福岡地域は孤立してしまう恐れがあり心配である。
  - ☆震災時には本当に想定外のことがたくさん起こり得る。あの3.11の地震が起きた前日に、緊急時の無線電話の必要性について担当者と打ち合わせを行っていたが、その矢先に起きた震災直後においては、実際に電話はまったく通じない状況となってしまった。市としては、想定外な被害もできる限り想像をめぐらし、対処方法についてあらかじめ備えておきたいと考えている。
- ・・・現在想定されている地震のマップを配布し説明・・・
- ◆今整備を進めている公共施設の耐震度はどれぐらいか。
  - ☆これまでは震度6弱を想定しそれに耐え得る建物という概念であったが、先ほど申し上げた地域防災計画の見直しの中では、震度6強という震度に対応するよう見直して行く予定である。
  - ◆さぎの森小学校の南側地域においては、防災無線がまったく聞こえなくて困っている。富士見市の連絡は良く聞こえている状況であり、地域の皆さんからは苦情が寄せられている。
  - ☆防災無線についてはさまざまなお意見をいただいております、とても難しい問題がある。夜間のお仕事をされている市民の方からは、昼間の貴重な睡眠時間を阻害するようなことは止めて欲しいと言う苦情が入ったりするため、多少、ボリューム調整をさせていただいている。このような状況も聞こえづらい原因となっているかもしれない。いずれにしても、現地調査をさせていただき、スピー

カーの向きを変えるなどし、対処させていただく。

◆防災無線とお知らせメールの内容は同様の内容か。同様の内容であればお知らせメールでも十分情報が得られるのでは。

☆同じ内容で流しているが、登録件数があまり伸びていない現状である。

◆高齢者だと登録の仕方自体がよく分からない方が多数だと思うので、行政からもその辺りを支援して欲しい。

☆積極的に取り組ませていただく。それから、災害時には避難所に行くのが当たり前の意識が強いと思うが、災害が起こった時間帯によって様々なケースがあるので、臨機応変に対応していただき、何しろ自分の身の安全を確保してもらいたい。避難所に行き着くまでの間に大火事など起こっている可能性もあり、まず、自分の身を安全な場所に移すことが大切であると考えます。そこが、もしかしたら近所の畑か公園かもしれない。常日頃から自分の目でそういった場所を吟味しておく意識が必要ではないか。自助と共助の果たす役割が非常に高いことは、タウンミーティングの各会場で話させてもらっているが、公助が果たす役割については、市としても平時から体制を整えている。しかし、昼間災害が起こるとは限らないので、やはり地域の防災力が大きな鍵を握っていることを強く訴えさせていただきたい。

◆公助という中では防災無線や飲料水など用意してもらっていることと思うが、私は自分で出来ることとして「災害用伝言ダイヤル」を利用している。皆さんにも是非お勧めしたいので、12月2日の避難訓練の際にでも、PRしてみたらいかか。若い人は携帯電話が便利と思っているかもしれないが、3.11の時にはその携帯電話が繋がらず、公衆電話が一番繋がったと聞いているので、自分の身近にある公衆電話の状況を確認しておくことはとても大切なことである。

☆是非12月2日の全市をあげての避難訓練の際にはPRしたい。

◆ふじみ野市の震度は他市に比べていつも低いが地盤がそれだけ良いという理解をしていいのか。

☆決して震度計が壊れている訳ではない。設置している場所の加減でそうになっているのかもしれないが、県で設置しているものなので勝手に市の方で動かす訳にはいかないのが現状である。今後、支所にも設置される予定なので、そことの比較もできることになる。3.11の記憶もだんだんと薄れている中、ここ最近頻繁に起きている地震に対し、「どうせたいしたことはない」と思ってしまふのが人間の心理だということであるが、「この地震は大地震の前兆だ」という感じで捉えていただき、身構えて欲しい。

このところ市内で交通事故が多発しているが、いずれも信号機がある交差点での事故になっている。昨年11月から数えると4件も起きてしまっている。市として防災無線などを通して注意喚起をしているが、今後、交通事故は本当に起きて欲しくないなので、地域の中でも危険箇所を小学生に教えるなどしていただけたらと思う。

- ◆登下校の際、特に下校時の小学生について、道幅いっぱい広がって歩いているところを見かけたので、学校側に電話をし、交通安全指導を行ってもらおうと話したことがある。
- ☆雷が鳴ったらどこに避難するといいいのかなどについても、地域で情報共有してもらおうととても良いのではないかと思う。
- ◆防災井戸について、電気系統がダメになった場合の対応を教えて欲しい。
- ☆石油業組合、用水組合と協定を結んであるので心配は要らないものとする。
- ◆この駒林地区の全世帯数は1390世帯あるのに対して、自治会加入世帯は773世帯であり59%の加入率である。市の平均は61%なので低めである。集合住宅が増えたため加入率が低下したものと捉えているが、マンションなどは管理会社が入っているため、加入を促してもなかなか交渉が難しい状況である。
- ☆各タウンミーティングの会場で自主防災組織を作りたいと呼びかけると、どの会場でも加入率の問題が深刻化している様子である。若い世代は「メリットは何か」という意識が強いのが現状である。しかし、若い世代も共にみんなで地域を守っていこうという意識を強めてもらいたい。市役所窓口でも転入者には積極的に自治会加入を勧めている。「地域の防災力を高めよう」ということをスローガンに加入率を高めていただきたい。
- ◆連絡網を作っているので、皆さんに入会してもらい名前をきちんと載せさせてもらいたい。
- ☆3.11を受けてマンションでは水の問題が浮かび上がったこともあり、マンションの管理組合の方がこのタウンミーティングに参加され、自主組織を作る動きも他の地域では見えているので、このタイミングを逃さず、行政としても積極的に自治会加入促進の支援を続けていきたい。